

住民主体のまちづくり

No.36 2016. 11

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ 先進地講師による講演会

車尾地区社会福祉協議会は10月18日（火）午後7時から「特殊詐欺被害を防ぐ地域モデル検証事業」の取り組みとして、先進地の山形県米沢市から地域包括支援センター長を招き、実践例を基に被害を未然に防ぐことを目的に講演会を行い、自治会長、民生児童委員、在宅福祉員など36名が参加しました。

地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口業務があり、その内容の1つとして消費者被害防止があります。昨今は消費者被害の相談も増加し被害金額も増大していること。被害にあっている高齢者の実態として「お金」「健康」「孤独」の3つの不安に付け込まれていること。等々を話された。そして消費者被害対応のための取り組みとして「早期発見・早期対応」「再発防止の見守り体制を構築」「情報の発信」「未然防止の地域づくり」を強調されました。

参加者からは「消費者被害の防止は、消費生活センターの役割ではないか。」の質問がありました。これに対し講師からは「被害者の大半は、高齢者である。地域包括支援センターが中心になることできめ細かく取り組める。」と熱く語られた。そして米沢市では消費者被害から高齢者を守るには、知識のある人を増やして、その人が高齢者になった時に自分を守れることになるから、「消費者サポーター養成講座」を開設し修了者には消費者サポーターとして54名が活動していることを紹介された。



最後に、地域づくりの取り組みが消費者被害の防止に不可欠であると締めくくられました。会長は「米沢市の取り組みを参考に、高齢者を見守るサポーターを増やし『向こう三軒両隣』の連携を構築したい。」と語った。

■ 米川清掃

10月21日（金）午後2時7分に鳥取県中部地方を震源として発生した地震に伴い、今後も大きな地震の可能性があります、2日後の車尾地区環境をよく

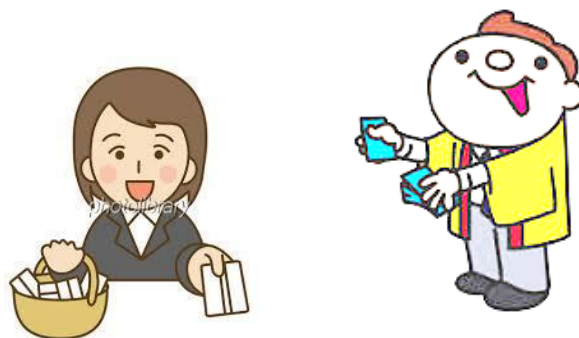


する会主催の米川清掃は中止になりました。

来年はしっかり取り組みたいですね。

■ 店頭での広報活動

車尾地区社会福祉協議会は10月16日（日）午前10時半から「特殊詐欺被害を防ぐ地域モデル検証事業」の取り組みとして、スーパーマルイ車尾店入口付近で代議員4名と米子警察署員2名により、来店者を対象にチラシと啓発グッズを手渡しし特殊詐欺に対する注意喚起を呼び掛けた。



代議員の一人は「声をかけると、丁寧に接してくれる来店者が多くて、やりがいがありました。車尾から被害者をひとりも出さない気持ちがより一層強くなった。」と感想を述べられた。

警察の方は「予想以上に人が多くて、また受け答えをしっかりとされるのでチラシやグッズがたくさん渡せてよかったです。」と達成感を語られました。

自分たちのまちは自分たちで（ つくる つなぐ つづける ）